

市場経済

市場経済は、三つの主要な経済体制の一つである。市場に参加するものが、誰も価格支配力を持たないとき、その市場は純粋競争市場あるいは完全競争市場であるという。

I. 経済体制の分類

A. 二面からの分類

1. 調整メカニズムの違い

a. 市場： 分権的意思決定と自由な交換

(1) 価格の働きによる需要と供給の調整

(2) 人々の好みと生産の可能性を示すシグナルとしての価格

b. 計画： 集権的意思決定と指令

c. 因習： 「しきたり」に従う経済活動

2. 生産手段（生産者財）の所有に関する制度の違い

a. 私有制

b. 公有制

B. 調整メカニズムと所有制度のさまざまな組み合わせ

1. 自然な組み合わせ

a. 市場と私有制： 資本主義市場経済（自由企業経済）

b. 計画（指令）と公有制： 社会主義計画（指令）経済

2. その他の組み合わせ

a. 市場と公有制： 社会主義市場経済

b. 計画（指令）と私有制： 資本主義計画（指令）経済

II. さまざまなタイプの市場

A. 純粋競争市場または完全競争市場： 誰も価格支配力を持たない市場

1. 市場が純粋競争となるための条件

a. 集中度が低い

b. 製品差別化がない

c. 市場情報が全員に行きわたっている

d. 参入障壁がない

2. 「純粋競争」と「自由競争」の違い

a. 純粋競争は実現し難い理想

(1) 純粋競争が社会にもたらす利益

(2) 法と規制の必要

b. 自由競争の害悪

(1) 独占化

(2) 闘争と市場秩序の破壊

B. 不完全競争市場

1. 独占市場 monopoly と買手独占市場 monopsony
2. 寡占市場
 - a. 個々の競争者の意思決定と競争相手の意思決定の依存関係
 - b. 共謀の可能性
3. 独占的競争市場
 - a. 多数の競争者
 - b. 製品差別化を通じた独占力

参考文献

教科書，第 1 章。

Grossman, Gregory (1967) *Economic Systems*. Foundations of Modern Economics Series. Englewood Cliffs, New Jersey: Prentice-Hall. (大野吉輝訳『経済体制論』東京：東洋経済新報社，1969.)

Chamberlin, Edward H. (1933) *The Theory of Monopolistic Competition: A Re-orientation of the Theory of Value*. (青山秀夫訳『独占的競争の理論』東京：至誠堂，1966.)

Keynes, John M. (1926) “The End of Laissez-Faire.” In *Essays in Persuasion*. (『ケインズ全集』第 9 巻。東京：東洋経済新報社.)

Robinson, Joan V. (1933) *The Economics of Imperfect Competition*. 加藤泰男訳『不完全競争の経済学』東京：文雅堂書店，1956.)

Stigler, George J. (1968) “Competition.” In *International Encyclopedia of the Social Sciences*.